

## 富山県農業・農村振興計画の進捗状況の概要

目標年度:2026 年度(中間年:2021 年度)

～将来にわたり発展する「競争力の高い農業」と「豊かで美しい農村」の実現をめざして～

## 《本県農業・農村の現状と課題》

■農産物生産・・・米政策改革、低調な園芸生産等  
⇒ 水田フル活用による需要に応じた生産推進 等

■農業経営・生産基盤・・・農家数の減少・高齢  
⇒ 農地集積、法人化、担い手育成、農地の大区画化 等

■販路開拓・拡大・・・農産品の知名度不足、市場縮小等  
⇒ ブランド力強化、国内外での販路拡大 等

■農村・中山間地域・・・農村集落等の活力低下  
⇒ 機能の維持保全、都市農村交流の拡大 等

推進施策	令和元年度の取組内容	目標指標の状況	基準年 (H28 2016)	実績 (R1 2019)	直近実績と 基準年対比 (R1/H28)	中間年目標 (R3 2021)
<b>I 消費者に求められる競争力のある農産物の生産</b>						
<b>1 競争力のある農産物の生産</b> (1) 高品質で選ばれる米づくりの推進 (2) 水田フル活用等による麦、大豆等の生産推進 (3) 園芸作物の生産力の強化・拡大 (4) 畜産物の生産拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土づくりを基本とした高品質な米づくりや、直播栽培の拡大による低コストな米づくりを推進</li> <li>○基本技術の徹底による大麦の収量・品質向上、土づくり等による大豆の収量増加の推進</li> <li>○主穀作農家への園芸導入やJA主導による1億円産地づくりなどによる園芸生産の拡大の推進</li> <li>○県主要農作物種子生産条例に基づく審査等の実施</li> <li>○県産りんごやチューリップのPR活動の実施</li> <li>○CSF(豚熱)ワクチンの接種や家畜伝染病防疫演習の実施、消毒用機器整備への支援など、家畜伝染病防疫体制の強化</li> <li>○優良種畜(受精卵、乳牛等)の供給による家畜改良増殖の推進</li> <li>○飼料用米等の生産・利用における広域流通体制整備への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業産出額 666億円</li> <li>○米産出額 448億円</li> <li>○米の1等比率 91.0%</li> <li>○水稲直播栽培面積 3,486ha</li> <li>○大麦の産出額 3億円</li> <li>○大豆の産出額 9億円</li> <li>○大麦の1等比率 80%</li> <li>○大豆の特定加工用以上比率 83%</li> <li>○水田フル活用率(耕地利用率) 96%</li> <li>○園芸産出額 97億円</li> <li>  うち 野菜・いも類 64億円</li> <li>  うち 果実 22億円</li> <li>  うち 花卉 11億円</li> <li>○1億円産地づくり戦略品目の総販売金額 12.3億円</li> <li>○畜産物(肉類)生産量 5,378t</li> <li>○生乳・牛肉・豚肉・鶏卵産出額 98億円</li> <li>○飼料用米栽培面積 815ha</li> <li>○稲発酵粗飼料栽培面積 345ha</li> </ul>	666億円	③0 651億円	97.7%	700億円
<b>2 人と環境にやさしい農業の普及拡大</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「富山県環境にやさしい農業・適正農業推進協議会」を核とし、環境にやさしい農業の実践農場における現地研修や推進大会の開催等により、環境にやさしい農業の普及啓発を推進</li> <li>○とやまGAPの普及・推進と、マーケットニーズ等に対応した第三者認証GAP(ASIAGAP等)の取得を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○有機・特別栽培農産物の栽培面積 1,044ha</li> <li>○GAPの認証取得経営体数 8経営体</li> </ul>	1,044ha	③0 93億円	95.9%	120億円
<b>3 競争力を高める技術の開発・普及</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「とやま型スマート農業推進コンソーシアム」を中心として、個別技術の検証や、複数の技術を組み合わせたモデル実証の実施など、ICTやロボット技術を活用したスマート農業を推進</li> <li>○「富富富」の刈取適期の判定基準、品質・食味が安定する適正栽植密度など、品質向上等を図る新技術を開発</li> <li>○「富山ブランド」を担うチューリップ1品種(白色の一重咲き)を新たに育成</li> <li>○「あんぼ柿」、「柿ごのみ」用の原料柿「三社」の長期保存方法を開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○普及に移した開発技術 29件</li> <li>○ICT等の先端技術を活用した新技術の実証件数 -</li> </ul>	29件	③0 21億円	95.5%	26億円
<b>4 意欲ある担い手の育成と経営強化</b> (1) 担い手の経営力向上と経営基盤強化 (2) 地域を支える多様な担い手の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人・農地プランの実質化に向けた支援、農地中間管理機構を通じた担い手への農地集積・集約化や集落営農の組織化に必要な機械整備の支援などにより、担い手の経営発展を推進</li> <li>○農業経営体法人化等支援事業などにより、農業経営の法人化を支援</li> <li>○国の農業次世代人材投資事業等の活用や、就農相談活動、就農時の機械整備への支援などにより、新規就農者の育成確保を推進</li> <li>○「とやま農業未来カレッジ」において、新規就農希望者に対する農業の基本的な知識・技術の習得等を支援するとともに、「ICT活用による環境制御型園芸ハウス」を活用した実習を新たに実施</li> <li>○とやま型農業経営支援事業により、農業所得の増大を図る「とやま型農業経営モデル」の実践等を支援</li> <li>○起業化に必要なスキル習得や機械・施設整備の支援により、女性起業者の発掘及び育成を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担い手による経営面積の割合 57.6%</li> <li>○認定農業者数 1,623経営体</li> <li>○法人経営体数 640経営体</li> <li>  (うち集落営農法人数) (390経営体)</li> <li>○大規模経営体数(50ha以上) 115経営体</li> <li>○新規就農者数(人/年) 87人</li> <li>○農村女性起業件数 181件</li> </ul>	57.6%	③0 61億円	95.3%	79億円
<b>5 優良な農業生産基盤の確保</b> (1) 優良農地の確保 (2) 農地の大区画化・汎用化、農業水利施設の改修等の生産基盤の整備 (3) 農村の防災・減災対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農用地区域内における優良農地の確保や、集落等による耕作放棄地の復活活動を支援</li> <li>○農地整備事業等により、農地の大区画化・汎用化整備及び水管理のICT化を推進</li> <li>○水利施設整備事業等により、土地改良施設の適切な維持管理、整備更新を推進</li> <li>○農村地域防災減災事業等により、ため池の整備等、総合的な防災・減災対策を推進</li> <li>○農業用水路等への転落事故防止に向けた意識啓発や必要な事故防止対策を推進していくための「富山県農業用水路安全対策ガイドライン」を策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農地(耕地)面積 58,700ha</li> <li>○ほ場整備面積 45,142ha</li> <li>○水田汎用化整備面積 33,733ha</li> <li>○大区画ほ場整備面積(1ha程度以上) 5,042ha</li> <li>○防災重点ため池整備箇所数 12箇所</li> </ul>	58,700ha	③0 89億円	90.8%	104億円
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○有機・特別栽培農産物の栽培面積 1,044ha</li> <li>○GAPの認証取得経営体数 8経営体</li> </ul>	1,044ha	③0 1,083ha	103.7%	1,100ha
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○普及に移した開発技術 29件</li> <li>○ICT等の先端技術を活用した新技術の実証件数 -</li> </ul>	29件	33件 <td>113.8%</td> <td>30件</td>	113.8%	30件
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○農地(耕地)面積 58,700ha</li> <li>○ほ場整備面積 45,142ha</li> <li>○水田汎用化整備面積 33,733ha</li> <li>○大区画ほ場整備面積(1ha程度以上) 5,042ha</li> <li>○防災重点ため池整備箇所数 12箇所</li> </ul>	58,700ha	58,300ha	99.3%	58,200ha
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○認定農業者数 1,623経営体</li> <li>○法人経営体数 640経営体</li> <li>  (うち集落営農法人数) (390経営体)</li> <li>○大規模経営体数(50ha以上) 115経営体</li> <li>○新規就農者数(人/年) 87人</li> <li>○農村女性起業件数 181件</li> </ul>	1,623経営体	1,619経営体	99.8%	1,660経営体
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○起業化に必要なスキル習得や機械・施設整備の支援により、女性起業者の発掘及び育成を推進</li> </ul>		745経営体	116.4%	715経営体
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○農地(耕地)面積 58,700ha</li> <li>○ほ場整備面積 45,142ha</li> <li>○水田汎用化整備面積 33,733ha</li> <li>○大区画ほ場整備面積(1ha程度以上) 5,042ha</li> <li>○防災重点ため池整備箇所数 12箇所</li> </ul>	58,700ha	(446経営体)	(114.4%)	(415経営体)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○認定農業者数 1,623経営体</li> <li>○法人経営体数 640経営体</li> <li>  (うち集落営農法人数) (390経営体)</li> <li>○大規模経営体数(50ha以上) 115経営体</li> <li>○新規就農者数(人/年) 87人</li> <li>○農村女性起業件数 181件</li> </ul>	1,623経営体	132経営体	114.8%	160経営体
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○起業化に必要なスキル習得や機械・施設整備の支援により、女性起業者の発掘及び育成を推進</li> </ul>		55人	63.2%	60人以上
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○認定農業者数 1,623経営体</li> <li>○法人経営体数 640経営体</li> <li>  (うち集落営農法人数) (390経営体)</li> <li>○大規模経営体数(50ha以上) 115経営体</li> <li>○新規就農者数(人/年) 87人</li> <li>○農村女性起業件数 181件</li> </ul>	1,623経営体	186件	102.8%	200件
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○農地(耕地)面積 58,700ha</li> <li>○ほ場整備面積 45,142ha</li> <li>○水田汎用化整備面積 33,733ha</li> <li>○大区画ほ場整備面積(1ha程度以上) 5,042ha</li> <li>○防災重点ため池整備箇所数 12箇所</li> </ul>	58,700ha	45,362ha	100.5%	45,600ha
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○認定農業者数 1,623経営体</li> <li>○法人経営体数 640経営体</li> <li>  (うち集落営農法人数) (390経営体)</li> <li>○大規模経営体数(50ha以上) 115経営体</li> <li>○新規就農者数(人/年) 87人</li> <li>○農村女性起業件数 181件</li> </ul>	1,623経営体	35,123ha	104.1%	35,100ha
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○起業化に必要なスキル習得や機械・施設整備の支援により、女性起業者の発掘及び育成を推進</li> </ul>		5,281ha	104.7%	5,600ha
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○認定農業者数 1,623経営体</li> <li>○法人経営体数 640経営体</li> <li>  (うち集落営農法人数) (390経営体)</li> <li>○大規模経営体数(50ha以上) 115経営体</li> <li>○新規就農者数(人/年) 87人</li> <li>○農村女性起業件数 181件</li> </ul>	1,623経営体	23箇所	191.7%	27箇所

推進施策	令和元年度の取組内容	目標指標の状況	基準年 〔 H28 〕 〔 2016 〕	実績 〔 R1 〕 〔 2019 〕	直近実績と 基準年対比 (R1/H28)	中間年目標 〔 R3 〕 〔 2021 〕
<b>Ⅲ 農産物のブランド力向上と販路の開拓・拡大</b>						
<b>6 食のとやまブランド戦略の強化による販路の開拓・拡大</b> (1) 付加価値の高い商品・サービスの開発 (2) 食のとやまブランドの推進と販路開拓 (3) 農林水産物等の輸出促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○富山米新品種「富富富」の都内アンテナショップでの先行販売会の開催や CM 放映など知名度アップに向けた展開</li> <li>○「食のとやまブランドマーケティング戦略」に基づく県産食材の周年供給とブランド力強化の推進</li> <li>○首都圏等のホテル、量販店でのフェアや全農とやまと連携した東京での「富山米フェア」の開催、商談会でのマッチングによる販路拡大など、食の魅力の発信、PR、ブランド力向上を推進</li> <li>○県産農林水産物の魅力向上を目指すお土産品としての「富のおもちかえり」商品の追加と販促活動の実施</li> <li>○輸出の重点品目やその目標などを示した「富山県産農林水産物等品目別輸出促進方針」に基づき、セミナーや商談会、国際食品見本市への出展など、農林水産物等の輸出を支援</li> <li>○6次産業化や農商工連携等により特色ある商品の開発や販路拡大を支援</li> <li>○国際認証GAP(ASIAGAP 等)の取得を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○6次産業化販売金額(加工・直売分野)</li> <li>○「富のおもちかえり」商品の販売金額</li> <li>○県食品研究所との共同研究開発による商品の販売金額</li> <li>〃 商品化数</li> <li>○首都圏への野菜出荷量</li> <li>○県産食材提供協力店舗数(県内)</li> <li>○輸出に取り組む事業者数</li> </ul>	⑳ 107 億円 3,341 万円  26 億円 59 商品 536t 1,580 店舗 30 社	㉑ 120 億円 3,335 万円  26.8 億円 66 商品 548t 1,842 店舗 45 社	112.1% 99.8%  103.1% 111.9% 102.2% 116.6% 150.0%	160 億円 1 億円  27 億円 71 商品 1,000t 1,850 店舗 40 社
<b>7 新鮮で安全な食の提供</b> (1) 食の安全確保の推進 (2) 食育と地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県食品安全推進本部を核とし、意見交換会や食品安全フォーラム等を開催</li> <li>○「とやまパーク」トークセッションの開催やリーフレットの作成等により普及啓発を推進</li> <li>○富山県食育推進計画に基づく県民運動としての食育の推進</li> <li>○マスコミやHP、イベント等での食育情報の発信</li> <li>○「新・とやま地産地消推進戦略」に基づく地産地消の推進</li> <li>○県産品購入ポイント制度の実施などにより、県民ぐるみの地産地消運動の推進</li> <li>○食品ロス削減のため、消費者向け啓発 CM の制作・放映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品表示が適正な店舗の割合</li> <li>○学校給食での県産食材活用量(野菜類)</li> <li>○直売所及びインショップにおける農産物等販売額</li> <li>○食品ロス削減のための取組みを行っている県民の割合</li> </ul>	97.8% 510t 35.1 億円  62.9%	96.7% 534t 35.3 億円  80.9%	98.9% 104.7% 100.6%  128.6%	100% 700t 45 億円  80%

<b>Ⅳ 豊かな資源を活用した魅力ある農村の創造</b>						
<b>8 豊かで魅力ある美しい農村の形成</b> (1) 快適で豊かな農村環境の整備 (2) 集落ぐるみによる地域資源の有効活用 (3) 都市との交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「元気とやま」むらづくり推進大会、多面的機能推進協議会研修会の開催等により、多面的機能支払制度の県民への周知、活動指導者の情報交換を推進</li> <li>○「農村振興・環境保全優良活動表彰」の実施等により、農村環境保全意識を啓発</li> <li>○農業集落排水事業により、農村下水道の機能強化を推進</li> <li>○地域用水環境整備事業により、農業用水を利用した小水力発電所の整備を推進</li> <li>○グリーンツーリズム活動組織と旅行・観光業者との連携の支援等により、都市と農山村の交流を推進</li> <li>○「とやま帰農塾」を開講(9 講座)し、田舎暮らし体験等を通じた移住を促進</li> <li>○「とやまの田舎」交流支援事業により、交流地域活性化重点地域における首都圏等の都市住民との交流拡大を推進</li> <li>○都会の若者の視点での地域の課題解決策を提案する「とやま農山漁村インターンシップ」事業を 1 地域で実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農村環境保全活動の参加者数</li> <li>〃 集落数</li> <li>〃 取組面積</li> <li>○農村景観を活かした地域づくり協定締結件数</li> <li>○棚田を保全する活動件数</li> <li>○農業用水を利用した小水力発電の整備箇所数</li> <li>○農林漁業等体験者数</li> <li>○交流地域活性化重点地域(指定数)</li> </ul>	66,756 人 1,406 集落 41,279ha 261 件  30 件 24 箇所  58,877 人 46 地域	67,325 人 1,402 集落 41,058ha 269 件  31 件 31 箇所  ㉒ 68,199 人 48 地域	100.9% 99.7% 99.5% 103.1%  103.3% 129.2%  115.8% 104.3%	68,000 人 1,500 集落 44,000ha 270 件  35 件 35 箇所  64,500 人 51 地域
<b>9 中山間地域の活性化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中山間地域等直接支払制度等の活用により、荒廃農用地の増加防止と棚田保全等を推進</li> <li>○侵入防止柵・捕獲用わなの設置助成、ジビエ利活用の推進、「富山県イノシシ被害防止対策方針」に基づいた鳥獣被害防止対策を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中山間地域直接支払協定締結集落数</li> <li>○農業・農村サポーター活動参加者数</li> <li>○荒廃農地面積</li> <li>○イノシシによる農作物被害額</li> </ul>	376 集落 145 人 324ha 3,885 万円	382 集落 106 人 353ha 8,330 万円	101.6% 73.1% 109.0% 214.4%	400 集落 195 人 増加させない 2,000 万円以下